

新刊案内



「とけいのおおくん」

エリザベス・ロバーツ／さく
殿内真帆／え「なにから
できているでしょーか？」

大森裕子／さく

教養としてのプログラミング講座 ----- 清水亮
 戦乱の中の情報伝達 ----- 酒井紀美
 平成経済事件の怪物たち ----- 森功
 有性生殖論 ----- 高木由臣

片岡護の極みのパスタ料理50 ----- 片岡護
 しっかりした敬語と伝え方 ----- 福田健
 カレイドスコープの箱庭 ----- 海堂尊
 写字室の旅 ----- ポール・オースター



「赤毛のアン」

NHKの連続テレビ小説「花子とアン」が始まりました。「赤毛のアン」をはじめとするモンゴメリの小説の翻訳で知られる村岡花子の生涯を描いています。そこで、数ある関連図書から3冊紹介します。

「花子とアン」の原案となった評伝、村岡恵理『アンのかごりかごり村岡花子の生涯』。戦争へと向かう不穏な時世に、村岡花子はカナダ人宣教師から友情の証しとして一冊の本を贈られます。「アン」と花子の出会いでした。多くの人に明日への希望が湧く物語を届けたい一心で、命懸けで「赤毛のアン」を翻訳した花子の情熱に満ちた生涯を孫娘が描きます。

山内史子『赤毛のアンと島へ』。世界で一番美しい島といわれるプリンス・エドワード島を20年以上撮り続ける吉村和敏による美しい写真に加え、物語や作者に関する貴重な資料、エピソードを盛り込んだ1冊です。四季の風物のほか、ホテルやレストラン、観光施設も詳しく紹介され、旅行ガイドとしても使えます。

奥田実紀『図説 赤毛のアン』。「赤毛のアン」だけでなく、シリーズ8冊の時代背景、当時の暮らしを解説した本です。アンが何を着て、食べて、作っていたのかを多数の写真とともに分かりやすくまとめてあります。「赤毛のアン」を読んだことがなくても、19世紀後半～20世紀前半のカナダの生活に興味のある方、歴史が好きな方にもお薦めです。

5月の休館日

12日(月)、19日(月)、23日(金)、26日(月)

開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時

土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時

図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

▷東海北陸6県の公立図書館は資料を相互利用するためのネットワークを組んでいます。土岐市図書館にない本でも他の図書館が所蔵していれば取り寄せることができますので、カウンターでお尋ねください。

▷4月29日(火)から5月11日(日)まで休館日はありません。どうぞご利用ください。